

第1回「ゆめづくりまちづくり賞」

～ ゆめは、人がつくる～

受賞作品の紹介

『都市フォーラム 風と緑で快適な街を』に先立ち、全国から公募しました『第1回ゆめづくりまちづくり賞』の授賞式が開催されました。

ゆめづくりまちづくり大賞は今回該当者がありませんでしたが、アイデア部門「ゆめづくり賞」には、日本の食料自給率を大都市大阪から引き上げようと提案されたアイデアが新たなコミュニティづくりのきっかけとなる点が評価されて、一級建築士事務所PandAの「40%+ 食べる名庭」が受賞しました。

都市づくり部門「まちづくり賞」は、地域住民が一体となり、行政と連携し、旧環濠地区の整備・再生に向けたまちづくりの実施が評価されたNPO法人自由都市堺・町衆会議の「旧環濠地区における町衆による環境共生型まちづくりの創生」と、地域住民らが積極的にまちづくりに参加し、行政と一体となって歴史的な景観保全を核にしたまちづくりが進められていることが評価された和歌山県高野町の「地域の文化を基盤としたコンパクトシティの経営」の2作品が受賞しました。

授賞式のプレゼンターには、快適都市実現委員会から安藤忠雄委員長、真野響子委員、木下誠也委員が出席し、受賞者に楯と目録を授与しました。授賞式の最後には安藤忠雄委員長による講評が行われました。



アイデア部門「ゆめづくり賞」



一級建築士事務所 PandA
井上 恵一 氏

一級建築士事務所 PandA

40%+ 食べる名庭

日本の食料自給率は40%不足。この自給率を大都市大阪から引き上げるため、ビルの屋上やコインパーキング等に菜園を設置。食料自給の実用性に、庭が持つ観賞的な価値を加えた提案を行いました。



「食べる名庭」イメージ

都市づくり部門「まちづくり賞」



NPO法人 自由都市堺・町衆会議
副理事長・事務局長
阪木 道生 氏

NPO法人 自由都市堺・町衆会議

旧環濠地区における町衆による 環境共生型まちづくりの創生

都市再生モデルの調査やLRTの敷設を契機とした街づくりガイドラインの研究活動など、行政と連携したまちづくりを推進。低炭素地域づくりへの取り組み、堺旧港周辺や河川の清掃などの活動も積極的に行っています。



堺旧港の風景



高野町長
後藤 太栄 氏

和歌山県 高野町

地域の文化を基盤とした コンパクトシティの経営

5km²の地域に住民の3/4が居住し、医療、教育、行政などの機能が集積する高野山地区では、モータリゼーションと距離を置き、公共交通機関を活用したコンパクトなまちづくりを実施。地元材を活用した町並み修景も進めています。



景観整備が進む高野山景観地区